

各位

鹿児島相互信用金庫

「いちき串木野市薩摩スチューデント奨学ローン」の取扱開始について

鹿児島相互信用金庫（本店：鹿児島市、理事長：永倉悦雄）は、鹿児島県いちき串木野市（市長：中屋謙治）と締結いたしました「いちき串木野市薩摩スチューデント奨学プログラムに関する連携協定」に基づき、「いちき串木野市薩摩スチューデント奨学ローン」を開発し、今般取扱いを開始しましたので、お知らせいたします。

記

1. 「いちき串木野市薩摩スチューデント奨学ローンについて

- ① 名称 いちき串木野市薩摩スチューデント奨学ローン
- ② 対象者 子女が学校等に就学中又は就学予定である方（保護者等）
- ③ 貸付形式 子女が学生の間は当座貸越形式、卒業後は証書貸付方式に切り替え
※ 利用者（お申込人）の当座貸越口座から奨学金として定時定額で出金し、子女の口座に振替入金する貸付方式
- ④ 貸付金額 50万円以上500万円以内
- ⑤ 金利 1.50%（令和5年8月7日現在、変動金利）
- ⑥ 特徴 ローンの支払利息は、ローンを利用される市内居住者全員に対し、いちき串木野市が助成。また、子女が卒業後10年以内にUターン等により同市内に居住し、市内外問わず県内に就職した場合に、返還開始年度の翌年度から10年間を限度に毎年度元金返済相当分を同市が補填。
- ⑦ 取扱開始日 令和5年8月7日（月）
- ⑧ 取扱店舗 鹿児島相互信用金庫 串木野支店
※ 詳細は、別紙「チラシ」をご覧ください。

2. 「いちき串木野市薩摩スチューデント奨学プログラムに関する連携協定」について

（1）概要

いちき串木野市の人口は、学生の進学や就業志向の変化による社会動減と、経済的理由等に起因する出生数の減少などから昭和50年以降減少傾向にあります。超・地域密着経営を掲げる当金庫と同市にとって人口減少は、地域の経済やコミュニティの衰退をもたらす共通の課題です。

本連携協定は、人口減少という地域課題の解決を通じて持続可能な地域を形成することを目的に、地元への人材還流や子育ての経済的負担軽減を実現する奨学プログラムの開発に協働で取り組みます。

（2）その他連携協定の詳細

令和5年3月20日付ニュースリリースを参照ください。

3. いちき串木野市「薩摩スチューデント奨学プログラム」について

（1）開発の目的

かつて、先進的な技術等を学ぶため英国に渡航し帰国後に明治日本を支えた薩摩スチューデントのように、進学等により本市から転出したとしても、様々な学びを身に付け、本市に戻り、中小企業の担い手として企業の成長に活躍できる人材を確保し、持続的な地域社会の構築を目的としています。

（2）プログラムの概要

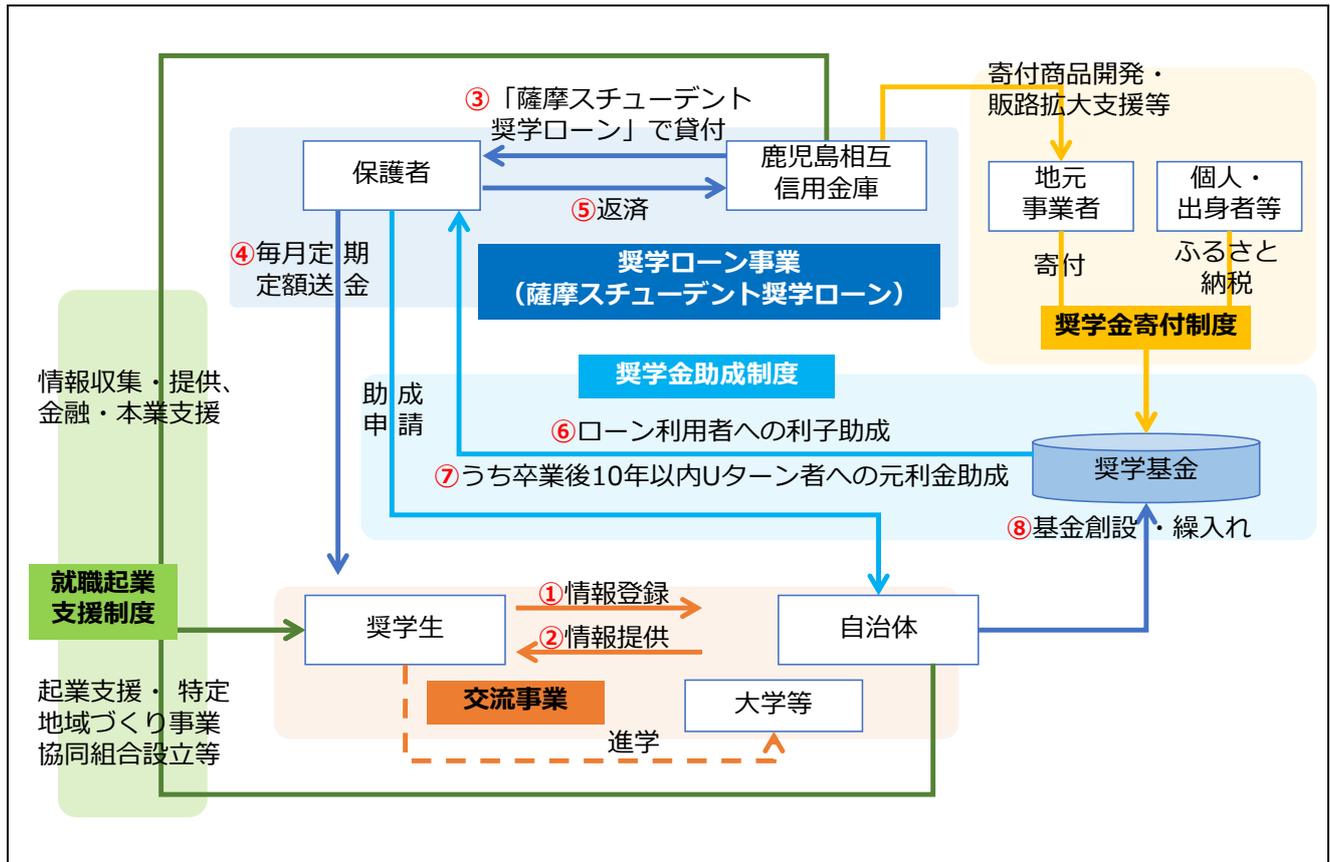
子育て世帯の経済的負担を軽減する「奨学ローン」「奨学金助成」制度と、人材還流を実現する特定地域づくり事業協同組合の創設等「就職起業支援」や同市と子女等とが関わり続ける「登録交流」制度等で構成されます。詳細は、別紙「持続可能な地域を形成するための新しいプログラム」をご覧ください。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

鹿児島相互信用金庫 地域支援部（担当：白石、諏訪脇）
〒890-0062 鹿児島市与次郎1-6-30 電話：099-259-5222 FAX：099-259-5227

1. プログラムのスキーム



2. プログラムの連関

- ① 保護者（奨学生）は、いちき串木野市へ奨学プログラムの利用申請を行い、メールアドレスを登録する。
- ② いちき串木野市は利用申請を受け付け、持続可能な地域形成のための新プログラムの案内を行う。
- ③ 当金庫は、奨学プログラム利用を申し出た債務者（奨学生を扶養する保護者等）に「薩摩スチューデント奨学ローン」を融資する。
- ④ 奨学ローンは毎月一定額が分割実行され、毎月の実行額が保護者から奨学生へ定額送金される。
- ⑤ 債務者は、奨学生が在学中は利息のみ、卒業後は元金・利息を当金庫に返済する。
- ⑥ いちき串木野市は、市内居住の債務者全員に対し、ローンの支払利息分を毎年補填する。
- ⑦ 奨学生が卒業後 10 年以内にいちき串木野市へ戻ってきて、市内外問わず就職した場合に、返還開始年度の翌年度から 10 年間を限度に毎年度元金返済相当分を、いちき串木野市が助成する。
- ⑧ 利用者の元金返済分の助成については、いちき串木野市が「薩摩スチューデント基金」を設立し、同基金を毎年の補填原資として、助成を行っていく。今後、奨学寄附制度を創設し、市内企業から寄附を募り、連携企業を認定するなどし、返済支援の基金を造成していく。

以上